

HAC OB 合唱団 クリスマスコンサート・レパートリー
楽譜の読み進め方&練習メモ

08/07/19 現在

<RUTTER CHRISTMAS 曲集より>

①Joy to the world!

ヘンデル風（ハレルヤコーラス）に華やかな感じで

十六部音符をはっきり

4 番の歌詞は日本語に変える（もろびとこぞりて～）

②A way in manger

こもりうた、優しくレガートで！（音符一つ一つを長く）

1 番：出だしは Sop. だけ（小さな音符は 3 番で歌う）、Sop. 以外はハミング

2 番：男声のユニゾン

3 番：全員が歌詞

③How great our joy!

1 番、2 番は楽譜の指示通り男声女声の掛け合い

3 番は Choir1 は各パート 1 名の Soli、Choir2 を他全員で歌う

④Three kings of orient

1 番：男声ユニゾンでメロディーを歌う

2 番：テナーソロまたは数人で

3 番：バリトンソロまたは数人で

4 番：ベースソロまたは数人で

5 番：全体合唱

⑤Good Christian men, rejoice

楽譜の指示とおりに

（1 番は女声男声の掛け合いあり）

⑥A way in manger

曲の最後 Slower、テンポが落ちるので女声のアウフタクトを聴いて、fit で合わせる

⑦O holy night

12/8 拍子

1 番：ソプラノ旋律 A. T. B. ハミング

2 番：男声旋律

3 番：全体合唱

一番の難曲!?

⑧Hark!The Herald Angels sing

3 番：コーラスは日本語で（楽譜どおりにスラーを生かし日本語で。あめにはさかえ〜）

<Stravinsky Ave Maria>

テナーはへ音記号で書かれています！

P3 の下の段のカンマ(Jesus)で一部、二部と分かれます

各小節、基本の音はドミソ（CEG）、それにラとシが入り‘教会の鐘’の響きを表している
（特にテナーの音型は自由）

ブレスはカンマのところで、それ以外はカンニングブレス

スラーのところは柔らかく、ないところはハッキリと動く

八分音符も母音は長く

<Orff Ave Maria>

f（フォルテ）は 30 小節一箇所だけ、基本的に p（ピアノ）の音楽

17 小節の-lier-の発音はイエ〜と e でのばす

4 パートユニゾンになるところが何箇所か出てきます

<Busto Ave Maria>

<La Cour Hodie〜>

拍子がころころ変わります

たとえば 22 小節目は大きな三拍子(四分音符が一拍) + 小さな三拍子(八分音符が一拍) + 二拍子(八分音符が一拍) と数える

15、16 小節が f（フォルテ）、あとはずっと p（ピアノ）

<La Cour Ave Maria>

他の曲にも言えますが、

他のパートとこすれる、ハモる、同じ音というのを、楽譜を縦に読んで確認しましょう

耳を使って音をとりましょう

<LaCour Laudate〜>

この曲もブレスはカンマのところ

但し、26 小節は全パートソプラノと同じく nunc, 一で切る（ブレス）

19 小節でリテヌート、21 小節でア・テンポ

29 小節からレント（テンポが大きく変わります）、ページの変わり目なので注意